

第4回文化祭

平成28年10月20日（木）～21日（金）

10月20日から2日間、横浜吉田中学校の第4回文化祭が開催されました。同窓会として昨年に引き続き日本の伝統的芸能である落語を在校生の皆さんに鑑賞していただきたいと同窓会名誉会長の桂歌丸師匠のご協力をえて文化祭に参加しました。

当日『開祭式』が始まると実行文化祭実行委員の生徒さんから『文化祭を盛りあげる強力な助っ人』として桂歌助さんを紹介していただき文化祭のトップバッターとして登場しました。



文化祭パンフレット



体育館の高座で熱演する桂歌助さん

体育館の高座にあがると歌助さんは落語の本題に入る前の枕にウォーミングアップとして洒落のきいた小咄を幾つか噺しながらするすると落語の世界へ入っていきました。落語は扇子と手ぬぐいだけで独りで演じる独特な芸です。歌舞伎や他の演劇と大きく異なるところを知ってもらい、普段こうした演芸に接する機会の少ない生徒さんには新鮮な感覚で聴いていただけたのではないでしょうか。

因みにこの日の演目は『牛ほめ』という滑稽咄で15分の短い咄でしたが、生徒さんの間からは洒落やおかしみが受けて、随所に笑い声が上がっていました。

桂歌助さんのプロフィール

歌助さんは昭和37年に新潟県十日町市で生まれました。

大学を卒業する前に（歌助さんは落語家には似合わず東京理科大学数学科の卒業なんです。おっとこれは失礼）桂歌丸師匠の自宅へ伺い入門をお願いしたそうですが、その時は『卒業したら来なさい』と断られたとか。こんなことでへこたれない歌助さん、その後何度もお願いにあがり、昭和60年に晴れて2番目のお弟子さんとして入門を許可されたのでした。それから落語家さんとしての修行を重ね、平成11年に真打ちに昇進されました。学校を卒業する前に師匠の家に行って門を叩いた話って、歌丸師匠の吉田中学校卒業時のエピソードと似ていますね。現在歌助さんは横浜市港南区にお住まいで横浜のにぎわい座や各地の公演会に出演されたり、地域の活性化にもエネルギーに活躍されています。

